

平成31年4月16日

朝礼（人を思いやることについて）

今年はみんなに、「仲間を大切にし、人を思いやれる」そんな学校にしようと言いました。入学式でも言いましたよね。

先日1年生のクラスに行った時、女の子の椅子が倒れて転んだ場面に出くわしました。その時近くにいた男の子がすぐさま飛びよって大丈夫と声を掛けて、ノートを拾ってあげていました。本当に素晴らしい出来事でした。

今日は、「人を大切にする。思いやる。」事について話をします。

人には、得意なこと、苦手なことがあります。例えば、計算が得意な人、漢字が得意な人、見たことを記憶するのが得意な人、聴いたことを記憶するのが得意な人、反対に、計算が苦手な人、漢字が苦手な人、見たことを記憶するのが苦手な人、聴いたことを記憶するのが苦手な人、様々あります。

盲学校には、目の見えにくい人たちが通っていますが、みんな全く目が見えないわけではありません。視野が狭く、真ん中あたりしか見えない人、真ん中が見えにくく、周りがよく見える人、まぶしくて見づらい人など様々です。でも、真ん中に見やすいようにものを持って行ったり、真ん中からずらしたり、サングラスをかけたりすることで見やすくする事ができます。

ちゃんとした手立てをしていくと、自分の不得意をカバーすることができます。

本年度は、新しくD組ができました。今まであるC組では、少しゆっくりのペースで、自分に合ったペースの学習をしているクラスです。D組は、少人数で学習することで集中して学習しているクラスです。どちらのクラスも自分たちの不得意をカバーするための人を大切にするクラスです。

自分とは違うところで困ったり、迷ったりしている人がいるかもしれません。みんながそれに気づいてあげられれば、人を大切にする学校になれると思いませんか？皆さんの生活の中でも困っている人を気遣える行動を実践してみしてほしいと思います。